

平成29年度 久留米市文化財専門委員会 議事録

1. 開催日時：平成29年7月3日（月） 10:00～12:00
2. 会 場：久留米市役所 1301会議室
3. 参加委員：西谷正委員、木下尚子委員、横山邦繼委員、重松敏彦委員、橋川ひろみ委員、永松義博委員、森山秀子委員、大森洋子委員、段上達雄委員、鳥丸貞恵委員、江島政光委員、宮崎伸二委員
4. 事務局：甲斐田部長、馬場課長、白木、水原、丸林、岡崎、江島、神保、廣木、大隈
5. 議 事
 - (1) 開会、教育長挨拶、会長・副会長選任、部会長選任、会議成立報告
 - (2) 報告：平成28年度文化財専門委員会議事録
 - (3) 報告：平成28年度の事業報告
※ 配付資料に基づき、事務局から説明
【質疑応答】

(委 員) 善導寺の大クスは幹が倒れたのか。
(事務局) 幹は大丈夫だが、根元から分岐した大きな枝が途中から折れた。

(委 員) 文化財保護団体への補助金と、補助対象について教えてほしい。
(事務局) 団体により異なるが概ね 41,500 円。内容は活動費の補助で、用具修理などは別途に対応。
 - (4) 報告：平成29年度の事業概要
※ 配付資料に基づき、事務局から説明
【質疑応答】

(委 員) 埋蔵文化財は緊急発掘だけではなく、重点的に保存していくようなエリアを設定することも必要。
(事務局) 史跡指定地を含むエリアについては、開発者と協議しながら、できる限り保存していくように取り組んでいきたい。

(委 員) 埋蔵文化財の発掘調査の民間調査組織導入と、今後の市の方針について教えて欲しい。
(事務局) 整理作業については、実測やトレースなど、既に民間に委託しているケースはある。発掘調査については自前でしており、今後も可能な限り現体制でしていきたい。

(委 員) 説明板の多言語表記はどうなっているのか。またデザインは統一しているのか。
(事務局) 必要性は認識しているが、一部にとどまっている。上野家御成間については考えている。デザインは市内での統一性はないが、エリア内での統一性については検討していきたい。

(委 員) 博物館の構想はどうなっているのか。
(事務局) 市の総合計画の中で、平成31年度までに方針を決定するようになっている。

(委 員) 受け入れ資料の活用状況と、収蔵庫のキャパシティは。
(事務局) 9万点以上の受け入れ資料があり、寄贈者には「収蔵館ニュース」や企画展のチラシ

シなどを送付して情報提供に努めている。収蔵庫の容量にも限界があり、資料の取捨選択をしつつ受け入れている。

(委 員) 寺町の建造物調査の内容と、新しい知見があれば教えて欲しい。

(事務局) 本堂などの建物調査を基本とし、併せて本尊や寺宝などの調査や、住職からの聞き取り調査も行っているが、現段階では従来の見解を修正するような知見は得られていない。

(委 員) 久留米市はそもそも指定文化財は多いのか。

(事務局) 指定文化財は県内では福岡市、八女市に次いで多い。特に国指定史跡の数は全国的に見ても多い。

(5) 報告：次年度以降の諮問予定資料の概要

※ 配付資料に基づき、事務局から説明

【質疑応答】

(委 員) 虫追い祭りの次回の開催年と時期は。

(事務局) 次回は平成 31 年度で、11 月に開催される「耳納の市」に合わせて開催予定。

(委 員) 虫追い祭りは、一時的に中断していたようだが、聞き取り調査などはしたのか。

(事務局) 昔からやっていた方と、現在、活動している方たちとの間で考え方の違いもあり、聞き取り調査の調整まではしていない。

(委 員) 考古資料の指定は単体ではなく、他の遺物との相関関係も含めてセットで検討すべき。

(事務局) 久保遺跡の黒色磨研土器は一括性が高い。また正福寺遺跡も編みカゴ以外に共伴資料も含めて検討していきたい。

6 閉会挨拶（事務局 馬場）